

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成29年度第2回 第2分科会（健康、福祉分野）
日時	平成29年10月4日（水） 午前9時30分～午前11時48分
場所	江南市役所 3階 第3委員会室
出席者	市民委員 安藤 ひとみ、掛布 巳幸、黒岩 義光、今井 敦六、松尾 昌之
	市職員 倉知 江理子、鶴飼 篤市、貝瀬 隆志、平野 勝庸、今枝 直之
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり評価の結果について 2. その他
資料	資料3 まちづくり評価【Ⅱ 健康、福祉分野】
	資料4 平成29年度江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査（江南市市民満足度調査）報告書 （※第1回の会議資料と同じ）

◆ 会議結果 ◆

1. まちづくり評価の結果について

〔柱3〕 障害者の生きがいと安心した生活の確保

- ・資料3に基づき委員（福祉課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている

- ・グループホームとジョイフルやサンライフ等の施設との違いとグループホームを利用する際の料金について質問があり、ジョイフルやサンライフ等の施設は高齢者向けの入所施設であり、外出等に制限がある。グループホームは障害者向けの施設であり、少人数で共同生活を送っている施設であり外出等について制限はないとの説明がありました。

また、利用料金については、個人の負担能力によって変わる。収入の少ない人は利用料金を市で負担する制度があるとの説明がありました。

- ・「公共施設のバリアフリー化率」の市民の取り組みの状況について、現在空欄となっているが、市民の取り組みについて記載する必要があるのではないかと意見があり、再度検討するとの説明がありました。

〔個別目標②〕 障害者等が住み慣れた家庭や地域で安全・安心に生活することができるよう地域での福祉活動が行われている

- ・「基幹相談支援センターへの相談件数」の市役所の取り組み状況の中にある「3障害」の内容について質問があり、3障害とは「身体障害」、「知的障害」、「精神障害」であるとの説明がありました。

〔柱4〕 健康な生活の確保

- ・資料3に基づき委員（健康づくり課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕 自らが疾病予防に取り組んでいる

- ・がん検診を個別検診に移行させることにより、病院によってはがんの発見に差が出てくるのではないかと質問があり、各実施医療機関は定められた方法を遵守する必要があるため、医療機関による差はないと考えているとの説明がありました。

- ・健康診査の受診率について、健康に関する情報が多くある中で、受診率が上がってこないのは何故かとの質問があり、原因はわかりませんが、市のがん検診以外で検診を受けている人数を市は把握できないため、市のがん検診以外で受診する人数が増えると、市のがん検診の受診率は下がることは考えられるとの説明がありました。

〔個別目標④〕市民が安心して医療を受けている

- ・病院への補助金について、他市からも補助金を出しているのかとの質問があり、第2次救急医療対策費補助金、小児救急医療対策費補助金については他市町からも負担してもらっているが、江南厚生病院建設費補助金については、江南市単独で負担しているとの説明がありました。
- ・江南厚生病院建設費補助金について、補助期間や補助金額について質問があり、平成21年度から平成35年度までの15年間で、年間約1億2,300万円を補助し、合計で約18億5,000万円を補助していくとの説明がありました。

〔柱5〕保険年金制度の健全な運営

- ・資料3に基づき委員（保険年金課長）より説明がありました。

〔個別目標①〕医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている

- ・国民健康保険税の戸別訪問の体制について質問があり、保険年金課で行っている戸別訪問は職員が二人一組で行っており、支払が難しければ収納課にて納税相談をしていただくよう案内しているとの説明がありました。
- ・後期高齢者医療保険料の未納の原因について質問があり、年金収入が少ない等の理由から特別徴収が行えない人で、納め忘れ等により未納になるケースが見られるとの説明がありました。

〔柱6〕地域での生活支援の充実と地域で支えあう体制の確保

- ・資料3に基づき委員（福祉課長）より説明がありました。
- ・質問はありませんでした。

2. その他

- ・12月22日に開催予定の全体会議について事務局より説明がありました。